

バロー25期連続増収

3月期ドラッグ事業好調

バローホールディングス(HD)が22日発表した2020年3月期連結決算は、売上高に当たる営業収益が前期比19・8%増の6780億9600万円となり、過去最高を更新した。増収は25期連続。アレンザHDなどの子会社化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大でスーパーマーケット(SM)やドラッグストア(DS)の需要が伸びた。営業、経常利益は増収効果で2期連続の増益。純利益は、固定資産の減損損失として30億6500万円を計上するなど特別損失が増加し、2期ぶりの減益となった。

SM事業は、大型店の改装で精肉や鮮魚の売り場を

強化し、売り上げを伸ばしたほか、千葉県でディスカウント店を展開するてらお食品の子会社化などが増収に寄与。外出自粛に伴う食料品の需要増もあり、営業収益は5・5%増えた。

DS事業は、化粧品、ヘアケア用品を中心に売り上げが好調に推移。新型コロナウイルス感染拡大後もマスクや除菌関連商品の販売が伸びた。名古屋市の一部店舗で総菜を導入するなど都市部

の192店が加わり、営業収益が2倍に増加。スポーツクラブ事業は、低価格のフィットネスジム「アクトスWillieG(ウィルジー)」を中心に46店を新設し、増収を維持した。

役員人事を発表

バローホールディングスは22日、志津幸彦取締役管理本部副本部長と高山景農林中央金庫JABバンク業務革新部長が取締役常勤監査等委員に就く役員人事を発表した。6月26日付。

山下隆夫取締役流通技術本部無店舗事業推進室長は室長のまま取締役を退任。高崎治取締役常勤監査等委員は退任する。

県内企業2020年3月期決算

	売上高	経常損益	純損益	配当
バローHD				
(連) 678,096 (19.8)	16,878 (4.9)	6,477 (▲18.1)	52.00	
(予) 690,000	17,200	7,000	52.00	

【注】単位は百万円、%、配当は円。(連)は連結、(予)は2021年3月期予想。かっこ内は前期比増減率。▲はマイナス。